

Communication Competence (対話力)

農林水産政策研究所長 渡部 靖夫

去る4月1日、武本前所長の後任として、農林水産政策研究所長を拝命いたしました。この場をお借りして読者の皆さんに一言ご挨拶、というよりも、まず私たち政策研の宣伝をさせていただきます。

(特に行政部局の皆さんへ)

私たち政策研の使命は、行政部局のニーズを受け十分な調整を行いながら、基礎的・先導的な研究に取り組み、その成果を適時適切に提供することです。行政部局から研究要請される際には、政策研に次のような強みがあることを念頭に置いていただくと良いのではないのでしょうか。

一現場をよく知っています

現場に参りますと、生産者や業者の中には、行政当局の人に対して精神的バリアーを張る方々がいらっしゃいますけれども、私たち研究員に対しては、比較的本音ベースで語っていただけることが多いようです。研究調査目的の訪問だから安心なさっているのか、継続して訪問するので打ち解けてもらえるのか、理由は様々でしょうが、現場の声を吸い上げるのに、私たちの立場は適しています。同一の生産者・組織の変遷を、何年間にもわたって詳細にフォローし、研究成果をあげたこともあります。こうした取組は、人事異動サイクルの短い行政部局ではなかなかできない、私たち政策研の強みです。

一経済分析の道具を使いこなせます

経済学には、政策を導入した場合の影響を予測するための産業連関表やCGE(応用一般均衡)モデル、農産物の将来需給を予測するための需給均衡モデル等いろいろな分析道具があり、政策研では、これらを使いこなせる研究者がいます。関係者が合意形成

していくためには、このような科学的分析に基づいた冷静な議論が必要な場合が多々あります。そのようなときの資料づくりの支援に、政策研が力を発揮します。

一英語以外の言語にも対応できます

複雑な国際情勢を理解して適切な国際対応を行っていくためには、近年プレゼンスを高めてきたBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)の動向も正確に把握することが重要になっています。ただしそのためには、英語はもちろんのことですが、ポルトガル語、ロシア語、中国語等、これまでそれほどメジャーでなかった言語を駆使した、現地情報の収集分析が必要でしょう。政策研には、こうしたやや特殊な言語に精通し、それぞれの国での勤務や研究の経験のある者がいます。加えて、多数の国際機関や海外の大学との研究ネットワークも構築しています。農林水産政策研究の分野で、これだけ多くの国々をカバーする研究体制ができているのは、国内では私たち政策研だけではないか、と自負しています。

(一般の皆さんへ)

政策研は、広く一般社会にも開かれた研究所です。研究成果は、できるだけ分かりやすい形で社会に提供するように努めています。例えば、ほとんどの研究成果は、冊子媒体だけでなく、ホームページ上で簡単にご覧いただけますし、当所研究者による研究成果の報告会、大学教授や外国人研究者を招いたシンポジウム等、どなたでも自由に聴講し、議論にも参加していただけます。また、メールマガジンでは、こうした研究成果の発信や研究会の開催等について、定期的にご連絡を差し上げております。是非会員になってご活用ください。



(ご挨拶)

私を「英語帝国主義者」と揶揄する方がいらっしゃいますが、それを恐れず、ある英語塾の広告にあった“Communication Competence”（対話力）という言葉のパクって、私の就任挨拶に使わせていただきます。

近年、自然科学、社会科学いずれの分野でも、個人主体の研究に代わって複数研究者が協力し合う研究の重要性が高まっています。農林水産業を巡る国内外の諸情勢についても、急速に複雑高度化しており、こうした対応は大変重要だと思います。現に政策研では、数年前に研究チーム制を導入し、研究領域や研究室を越えた柔軟な研究体制をとってきました。

しかし残念ながら、私たちの研究体制は、まだその機能を十分発揮しているとはいえないかもしれません。原因のひとつは、私たちの対話力の不足ではないか、と常々反省しています。相手のいうことを理解し、考えをまとめ、相手に打ち返す対話力は、チームメンバー同士の意見交換のみならず、行政部局との協議調整、成果発表会での報告等のときにも、極めて大切だと思います。活発な対話によって、チームワークのレベルは高まり、さらに行政部局のニーズを的確に把握し、広く社会のニーズにも即した研究成果の発信ができるものと私は信じます。そのために、今後は所員一人一人が対話力の一層の向上に務めて参りたいと考えております。

もちろん、対話力は相互に高め合うべきものです。所外の皆さんにも、私たちに積極的に語りかけていただくようお願い申し上げます。

Let's improve our communication competence!

渡部 靖夫（わたなべ やすお）

農林水産政策研究所長（Director General）

略歴：1954年 生まれ（島根県出雲市）

1977年 京都大学農学部農林経済学科卒業

同年 農林省入省

1991～1994年

OECD（経済協力開発機構）食料農業水産局農業政策課勤務（パリ駐在）－国際部交渉調整官，海外情報室長を経て2000年より当研究所勤務

2000～2003年

海外部国際関係研究室長

2001年 九州大学大学院農学研究院客員教授（併任）

2004～2006年

国際政策部長

2006～2007年

玉川大学農学部非常勤講師

2008年～

筑波大学生物資源学類非常勤講師

2009年～

法政大学生命科学部兼任講師

2006～2012年

次長

2013年4月～

現職